

5. 保証について

■ 保証の明細・保証について

保証期間は、下記表をご参照ください。

当社は社団法人オフィス家具協会 (JOIFA) の「オフィス家具 PL 対応ガイドライン」に準拠した安全な製品の提供を行っております。

この製品の保証期間は特別な定めのある製品以外は JOIFA 顧客対応ガイドラインに基づき、通常の状態で使用された場合の種別毎にお客様ご購入された日から1年・2年・3年としております。

	不具合箇所・現象の例	保証期間
外表・表面仕上	塗装及び樹脂部品の変・褪色、レザークロスの摩耗	1年
機構部・可動部	引き出し、スライド機構、扉の開閉・錠前・昇降機構の故障	2年
構造体	強度・構造体にかかわる破損	3年

※保証期間中の製品の不具合につきましては、製品又は部品の交換にて対応させていただきます。

※保証期間経過後の修理は有料に承ります。保証期間経過後の点検・修理責任は製品を所有される方が有します。

※保証期間内でも、次の内容に当てはまる場合は有料となりますのでご注意ください。

- ・ 火災、天災による損傷の場合
- ・ 使用上の誤りや改造などお客様の責任に帰すると認められた場合

※保証は通常の手入れやメンテナンスが行われていることが前提となります。

■ 安全にお使いいただくために

○ 厳しい品質検査を終えた製品をお届けしていますが、万一製品に不具合が生じた場合はご連絡ください。確実な対応をさせていただくとともに、今後の製品開発や再発防止に反映させていただきます。

○ ご使用にあたっては、必ず取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、取扱説明書は大切に保管してください。

○ お客様により安全にお使いいただくために必要に応じて製品への警告ラベルを貼付しています。ご使用前に内容をご理解の上正しくお使いください。

○ 説明書・ラベル等に表記している最大積載重量を超える物を乗せないでください。

○ 不要になった製品などのお引取をご希望の場合は、販売店までご連絡ください。

[領収書・納品書をこのスペースに貼って保管ください]

■ 製品に関する問合せ

製品に関するご質問は、商品裏面に貼り付けてありますシールの品番・製造番号をご確認の上、購入店または下記までご連絡ください。

SEKI カスタマーセンター **0120-642-119**

(定休日: 土日祝日・夏季休暇・年末年始、営業時間 10:00 ~ 17:00)

株式会社 **関家具**

〒831-0033 福岡県大川市橋保 201-1

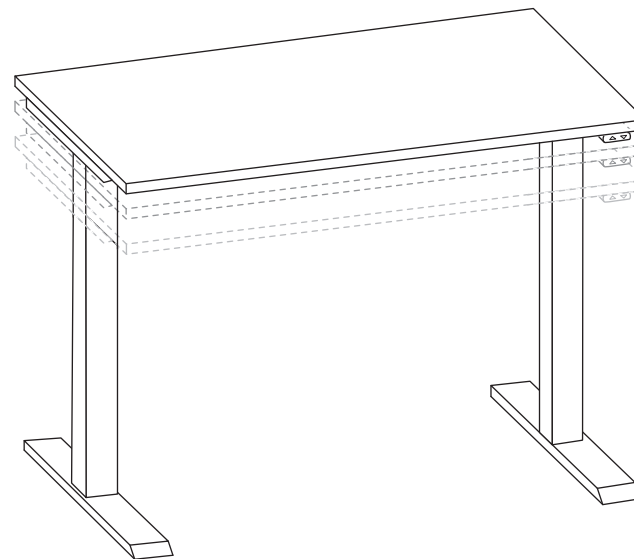
JOIFA 802

一般社団法人日本オフィス家具協会 会員番号

180405_DENOUDEKUM01A

DSD-12070 WH DSD-14070 WH

この度は、電動昇降デスク DSD-12070 WH、DSD-14070 WH をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本説明書には製品を安全にご使用いただくために注意事項、組み立て方法や使用方法などを記載しています。製品をご使用になる前に、必ず本書をよくお読みいただき内容を理解した上で正しくご使用ください。



関家具

1. 安全上のご注意

組み立て前やご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、内容を理解された上で正しく組み立てを行いご使用ください。また、本書はお読みになった後も必ず手元に大切に保管をお願いいたします。本説明書に表示している注意事項は電動昇降デスクを安全にお使い頂く上で、お客様や周りの方への危害や物的損害を未然に防ぐためのものです。

●絵表示の意味●

この「組立・取扱説明書」に表示している注意事項は、本製品（電動昇降デスク）を安全にお使いいただく上でお客様や周囲の方への危害や物的損害を未然に防ぐためのものです。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う危険が想定される」内容を表しています。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、「損害または物的損害のみの発生が想定される」内容を表しています。

定格電圧：100V
定格消費電力：300W
定格周波数：50/60Hz

⚠ 警告

■ 火災や感電の恐れがありますので、以下のことを必ずお守りください。

デスクの昇降操作中に異臭（こげ臭さ）やその他の異常を感じたら、直ちにリモコンの操作を中止し電源プラグを抜いてください。

指定電圧以外での電圧では使用しないでください。

製品の組み立てや部品の取り付け、取り外しを行う際は、必ず主電源を切って作業を行ってください。

タコ足配線はしないでください。

連続操作は1分以内で行ってください。連続操作の後は10分以上間隔を空けて操作を行ってください。故障の原因となる恐れがあります。

付属の電源コード以外は絶対に使用しないでください。

電源プラグや電源コードの分解・破損・加工は絶対に行わないでください。また、無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。

プラグや電源コードが破損したときは直ちに使用を中止し販売店またはカスタマーセンターにお問い合わせください。

本製品やリモコンの分解、改造、修理は危険ですので絶対に行わないでください。

ストーブなどの可燃性の器具や火気の近くでは使用しないでください。事故や火事になる恐れがあります。

機械油など油分や化学薬品などの成分が浮遊している場所では使用しないでください。事故がおきる恐れがあります。

電源プラグにホコリがたまると事故の原因につながる場合があります。ホコリは定期的に取り除いてください。

屋外や水のかかるところでは絶対に使用しないでください。また濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。

長時間使用しないときは誤作動や事故を防ぐため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜くときはコードを持って引っ張らず、プラグを持って抜いてください。

■ はさまれたりして怪我をする恐れがありますので、以下のことにご注意ください。

絶対にお子様には操作させないでください。

昇降操作中は周囲の人や天板、周りの物、特に天板下に物が無いことを確認してください。

天板を下げる時は、デスクの下にもぐり込まないでください。はさまってけがをする恐れがあります。

デスクの昇降中には天板と壁の間に体の一部を置かないでください。すきまにはさまれてけがをすることがあります。

デスクの昇降中には可動部に体や物が触れないようにしてください。可動部のすきまにはさまれて、けがをしたり故障の原因となります。

昇降操作をする時は、天板の周囲や下に椅子やワゴンがないことを確認してください。破損や故障の原因となります。

天板を下げているときに誤って体や椅子などのモノがはさまってしまった場合は、即座に使用を中止し、天板を上げ戻してください。けがをしたり、転倒や破損の恐れがあります。

天板を上げるときは、天板上方に設置された棚やモノがぶつからないようにしてください。けがをしたり、転倒や破損の原因となります。

機器が結線された状態でデスクを動かさないでください。断線や機器転倒の恐れがあります。

電源などのケーブル類は、天板最大高さでの使用状況において十分なケーブルの長さのものを使用して、絡まったり、引っかかったりしないように注意してください。断線や機器転倒の恐れがあります。

壁面などの隣り合うものから、35mm以上離してお使いください。



■ 破損や転倒の恐れがありますので、下記の内容にご確認ください。

デスクを踏み台にしたり、運搬具としてなど本来の使用用途以外での使用はしないでください。

デスク天板に座ったり立ったりして作動させないでください。故障の原因や事故、ケガの恐れがあります。

デスクの上には絶対に乗らないでください。

天板にぶら下がったり、寄りかかったりしないでください。

ボルトやネジ類のゆるみなど、1カ月に1度の目安で定期的に点検ください。もしゆるみによるガタツキが生じた時はすぐに締めなおしてください。

アジャスター調整時では、手や足を挟まないように2人以上でしっかり支えておこなってください。

天板に60 kg以上（等分質量）の重い物をのせないでください。 ※等分質量とは天板に均等に質量をのせることを意味します。

■ 組み立て設置時は、下記の内容にご注意ください。

組立は大人の方が本説明書をよく読み、あらかじめ内容を把握してから組み立ててください。

手をケガしないよう必要に応じて手袋をしてください。

組立作業はウッドフロアや畳などにキズがつかないように、毛布やダンボールなどの上でおこなってください。

組立中・デスクの昇降中に指などを挟まないように十分にご注意ください。

デスクを移動させるときは、必ず大人の方が2人以上で行ってください。デスクを移動させるときは、天板をもたずに天板受け金具をもってください。天板だけもつとボルトやネジが外れる恐れがあります。

直射日光の当たる場所は避けて設置ください。変形変色の原因になります。

突起物や段差、傾斜のない、平らな場所に設置してください。

隣や向かい合わせで設置する場合は、天板と天板の間に十分なスペースを空けてください。

■ ご使用時は下記の内容にご注意ください。

屋外では絶対に使用しないでください。屋内でのご使用をお願いいたします。

スイッチの操作は必ず大人の方がおこなってください。お子さまがスイッチに触れないようご注意ください。

周囲にお子様やペットなどがいないことを確認しておこなってください。思わぬ事故の原因になります。

脚の伸縮部に触れないようにしてください。潤滑剤が体や衣服を汚す恐れがあります。

2. 構成パーツの確認

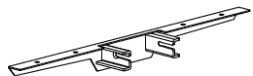
本製品は3つの梱包に分かれてお届けいたします。

各梱包の中にそれぞれのパーツが全て揃っていることを確認してから組み立てを行ってください。製品には万全を期していますが、万が一パーツが足りない場合は販売店までお問合せください。

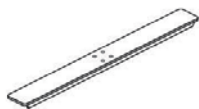
準備する工具：プラスドライバー



□【A-1】昇降フレーム×1



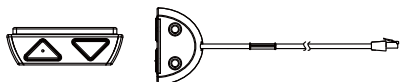
□【B-1】天板用受け金具×2



□【B-2】脚×2



□【B-3】AC電源ケーブル×1



□【B-4】昇降用スイッチ×1



□【B-5】セーフティセンサー×1



□【B-6】M10×16mm 脚用ボルト×8



□【B-7】樹脂キャップ×4
予備×4



□【B-8】六角レンチ×1



□【B-9】支柱固定用ボルト×4



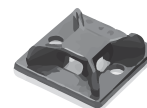
□【C-1】天板×1



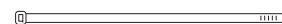
□【C-2】M5×20mm ボルト×10
+ スプリングワッシャー×10
+ ワッシャー×10
予備×2セット



□【C-3】両面テープ×1



□【C-4】配線止め(ケーブルタイ)×1



□【C-5】インシュロック×1

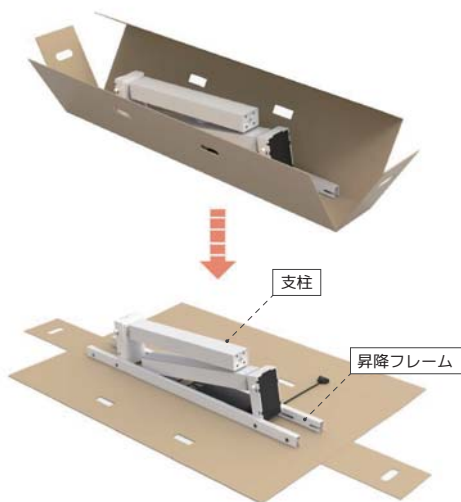
3. 組み立て手順

◆ 安全に組み立てを行っていただくための注意事項 ◆

- ・ **電動ドライバーは絶対に使用しないでください。**
- ・ **組み立ては必ず、大人の方2名以上で行ってください。**
- ・ 組み立て手順をよくお読みの上、予め内容を把握してから組み立てを行ってください。
- ・ 組み立ては大人の方が本説明書に従い、正しく組み立ててください。
- ・ 手にケガをしないよう、必要に応じて手袋を着用してください。
- ・ 組み立て作業の際にフローリング(床材)等にキズが付かないよう、製品を梱包している段ボールケースを広げてその上で作業を行ってください。
- ・ 組み立ての際は、近くにお子様やペットがいないかどうか十分に確認の上行ってください。
- ・ 組み立ての際に手や指などを挟まないよう十分にご注意ください。
- ・ **組み立て手順を間違えると、正しく組み立てできない場合があります。**

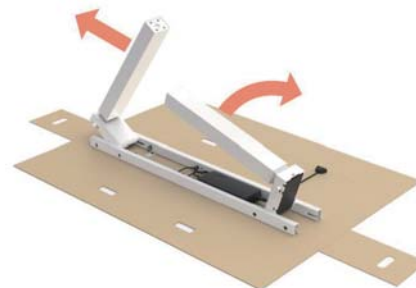
準備する工具：プラスドライバー

- ① **【A-1】昇降フレームと支柱が入った梱包を開けてください。**

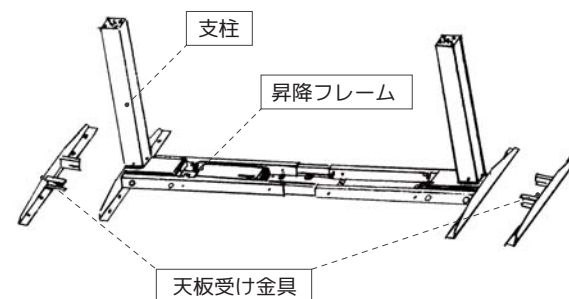


※大変重量のある梱包です。指や体を挟まないようご注意ください。

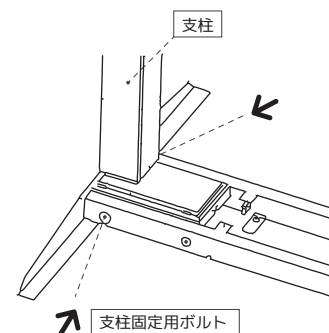
- ② 下図のように、**【A-1】昇降フレームの支柱を両方とも垂直に立ててください。**



- ③ **【B-1】天板受け金具(左右)を【A-1】昇降フレームに当たるまで深く差し込んでください。**
※差しこみにくい場合は支柱を軽く持ち上げ、内側に倒すとスムーズに取付られます。

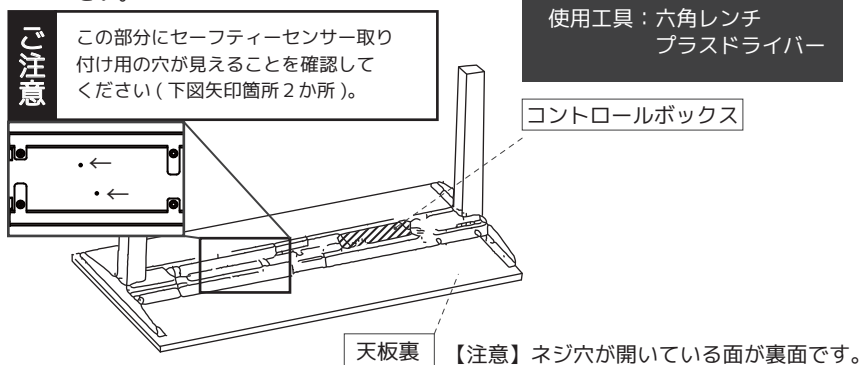


- ④ **【A-1】昇降フレームの左右2か所ずつ全4カ所**で、支柱を**【B-9】支柱固定用ボルト**でしっかり締めつけてください。

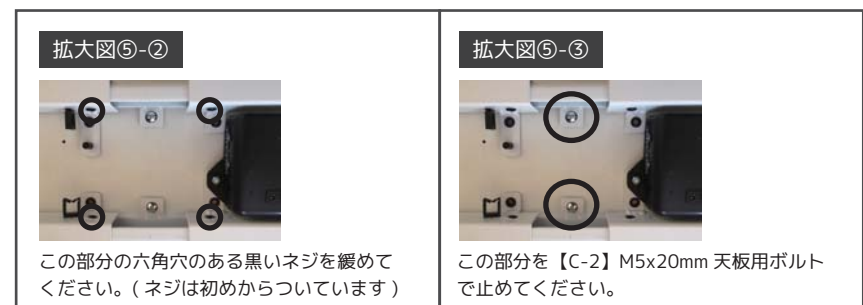
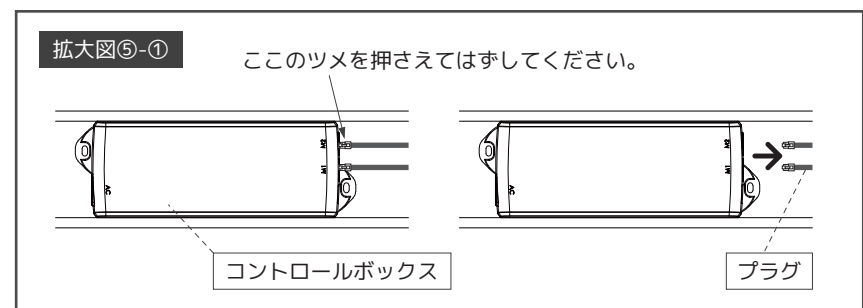


使用工具：六角レンチ

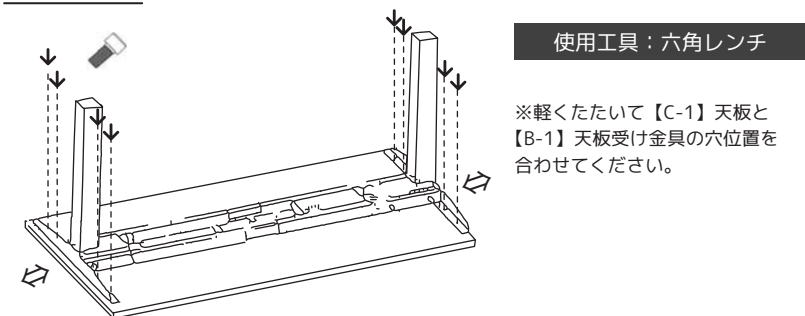
- ⑤ (1) ガイドホールのあいた【C-1】天板の裏に【A-1】昇降フレームを置き、コントロールボックスに取り付けてあるプラグ2本を外します。(拡大図⑤-①)
 (2) フレームの長さを天板の大きさに調整するため、すでについているネジ4ヶ所を付属の【B-8】六角レンチを使い、フレームから5mmほど飛び出すまで緩めてください。(拡大図⑤-②)
 (3) そして中央天板の穴位置とフレームの中央の穴を合わせプラスドライバーを使用して【C-2】M5x20mm 天板用ボルトで軽く止めてください。(拡大図⑤-③)
 ※この際はフレーム穴に付属しているゴムは必ずつけたままボルトで止めてください。



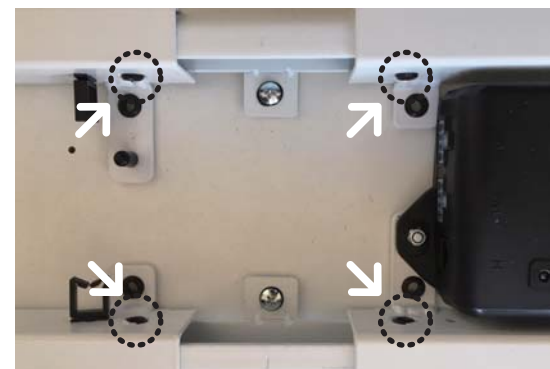
共通 コントロールボックスは、【C-1】天板裏面を上図のように見た時に、左側にセーフティーセンサー、右側にコントロールボックスがくるように取り付けてください。



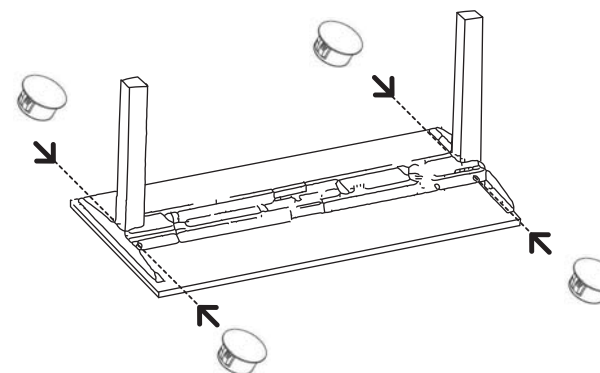
- ⑥ 【C-1】天板の左右の穴に【B-1】天板受け金具の穴を合わせ、左右各4ヶ所を【C-2】M5x20mm ボルト(天板用)で止めてください。
 ※天板受けフレーム穴に付属しているゴムは必ずつけたまま【C-2】M5x20mm ボルト(天板用)をとめてください。⑤-③で軽く止めた天板用ボルトを締めつけます。



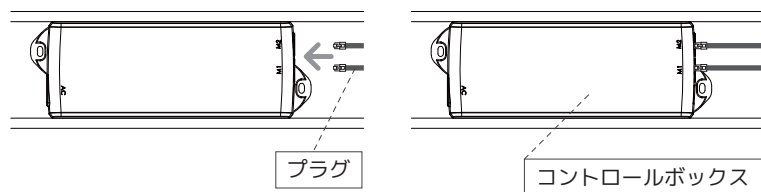
- ⑦ ⑤で緩めた矢印のネジ4ヶ所を【B-8】六角レンチで締めつけてください。



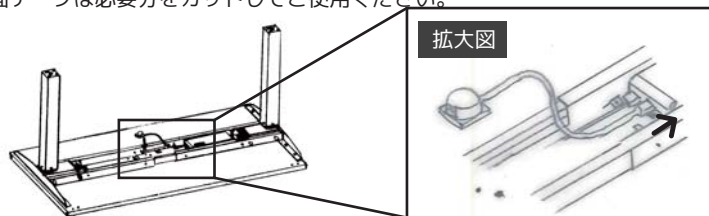
- ⑧ 図の穴に【B-7】樹脂キャップを4ヶ所取付けてください。
 ※本製品は樹脂キャップを4個使用します。残り4個は予備です。



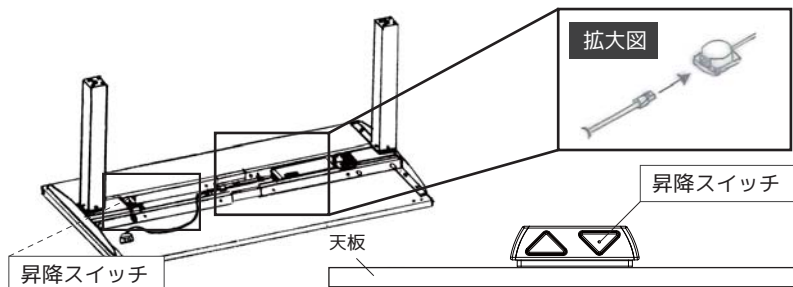
- ⑨ ⑤ではずしたプラグをコントロールボックスに差しこみます。
※プラグはどちらに差しこんでも使用上問題はありません。



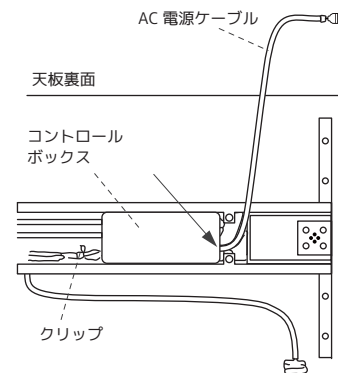
- ⑩ コントロールボックスに【B-5】セーフティセンサーのケーブルを取付け、【A-1】昇降フレームの間の天板部分の内側に【B-5】セーフティセンサーを合わせて【C-3】両面テープで取りつきます。
※セーフティセンサーは正しく取りつけていないと誤作動する可能性があります。動かないようにしっかり取りつけてください。
※両面テープは必要分をカットしてご使用ください。



- ⑪ 【C-1】天板のフロント側に、【B-4】昇降スイッチを天板長手方向の左右どちらかに【C-3】両面テープで取り付けてください。(左右どちらに取り付け可能です。)
そして、【B-5】セーフティセンサーに【B-4】昇降スイッチのケーブルを取り付けます。
※両面テープは必要分をカットしてご使用ください。

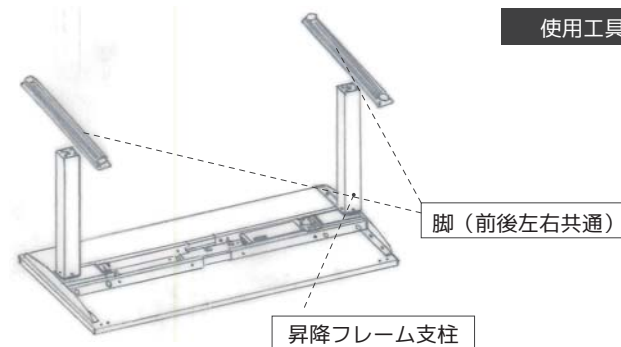


- ⑫ コントロールボックスに【B-3】AC電源ケーブルを取付けます。

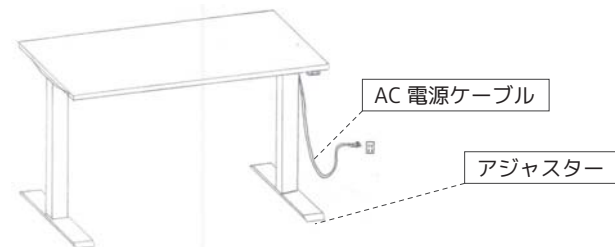


※AC電源ケーブルは絶対に束ねたままで使用しないでください。
※余ったケーブルは昇降フレーム内のクリップに留めてください。
※AC電源以外のコードは、たるまないように昇降フレーム内についているクリップで留めてください。必要に応じて【C-4】配線止め(ケーブルタイ)と【C-5】インシュロックをご使用ください。

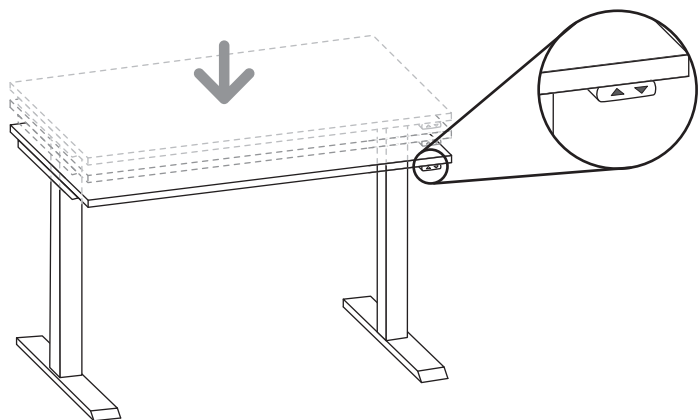
- ⑬ 【A-1】昇降フレームの支柱に【B-2】脚を【B-6】M10x16mm脚用ボルトで取りつきます。



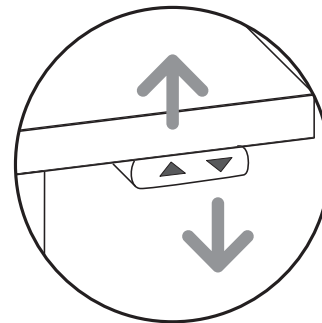
- ⑭ デスクを起こして所定の場所に設置し、アジャスターを調整してデスクが床と並行を保つように調整してください。【B-3】AC電源ケーブルのプラグをコンセントに差し込みます。
※天板をもたずに脚や天板受けをもって起こしてください。天板だけでもとボルトやネジがはずれる恐れがあります。
※必ず大人2名以上で作業してください。



- ⑮ 昇降スイッチの上昇ボタンと下降ボタンを同時に長押し（3～4秒）、天板を最下部まで下げてください。最下部まで下がると「ピッ」と1回音がします。
※この作業をおこなわないと正常に動かない場合があります。



- ⑯ 昇降スイッチのリセットが終了したら、必ず昇降スイッチの上昇・下降動作が問題ないかをボタンを操作して確認してください。



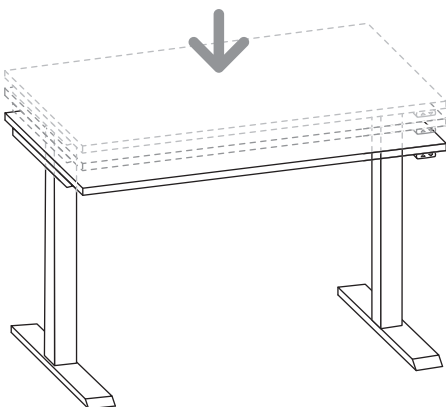
リセット操作（初期設定）

- (1) 上昇と下降のボタンを同時に押してください。
- (2) 3～4秒間ボタンを押したままにします。
- (3) 最下部まで下がりピッと音が鳴る

⇒リセット完了です。

※昇降スイッチを押している間しか上下昇降はしません。指を離すと止まります。

※長期間未使用後の再使用时も「リセット操作」を行ってください。



4. 故障かな？と思ったら

? デスクが作動しない

- コントロールボックスの緑LEDは点灯していますか？
 - ➔ AC電源ケーブルがコンセントに接続されているか確認してください。
- 全てのプラグがコントロールボックスに正しく接続されていますか？
 - ➔ 全てのプラグを引き抜き、接続しなおしてください。再接続後、リセット操作をおこなってください。
- デスクの周囲に障害物はありませんか？
 - ➔ 障害物を取り除いてください。その後リセット操作をおこなってください。
- ケーブルやコントロールボックス、昇降フレーム、支柱に目視で確認できる損傷がありますか？
 - ➔ 損傷している部品は交換の必要があります。
- 昇降スイッチのボタンは正しく押されていますか？
 - ➔ ボタンをもう一度押してください。
- 過運転、過負荷で動作させていませんか？
 - ➔ コントロールボックスの保護機能が作動したと考えられます。AC電源を抜いてしばらくしてからコンセントに接続してリセット操作をおこなってください。
※補足説明：コントロールボックス内の保護機能は回路の温度が上がりすぎることにより作動します。環境温度・昇温状況により復帰するまでの時間は一様ではありません。

? デスクが不規則に動作したり、又は傾斜している。

- 全てのプラグがコントロールボックスに正しく接続されていますか？
 - ➔ 全てのプラグを引き抜き、接続しなおしてください。再接続後、リセット操作をおこなってください。
- デスクの周囲に障害物はありませんか？
 - ➔ 障害物を取り除いてください。その後リセット操作をおこなってください。
- デスク上に過度な負荷がかかっていませんか？
 - ➔ 定格荷重以内で使用し、デスク上には偏った負荷がかからないようにしてください。確認後リセット操作をおこなってください。